

中学年ブロック代表授業

教科：社会科

3年1組：教室

授業者：佐藤真一教諭



自分でたてた課題を仲間と協力しながら解決していました。先生は、行き詰まっている児童に助言を与えたり、学習の方向性を修正してあげたりしていました。子どもたちは、授業の時間、常に主体的に学習している姿が見られました。学習の課題が「自分事化」できていると考えられます。

授業後は、3班に分かれ授業研究会を実施しました。班には、群馬県総合教育センターの指導主事、群馬県教育委員会の指導主事の先生方も加わっていただき、活発な協議が行われました。

以下は、班ごとに話し合われた内容をまとめたものになります。

◎手立ての有効性と改善案・学習を自分事化するための支援（感想疑問含む）

- ・自分の関心事から調べているため集中した取組であった。
- ・調べが進まない、見通しがもてていない児童への丁寧な支援が必要。
- ・タブレットで（インターネット）で調べていたが、資料として広すぎた。資料を絞る必要ありそう。
- ・調べたいこと調べてほしいことを調べられるコーナーを設置したい。実物でもタブレット内に入れておくでもよい。
- ・「絶対に調べること」（どこでつくられているか、どのような種類があるか、どのようにつくっているか）が示されていたが、どのような理由から選ばれたのか（疑問）。また、これらに着目させることで、働く人々のつながりにも考えが及ぶであろう。
- ・どのような力が身に付いていればよいのかゴールの姿を想像させることが大切。
- ・ワークシート等を活用し、「絶対に調べること」の結果を記入し、確認させたらどうか。
- ・「絶対に調べること」を児童が把握できていない。
- ・ネットで調べたことを、消化できないまままとめている。
- ・副読本の資料などを積極的に活用させるなど、情報を絞ってもよいかもしれない。
- ・何を調べればいいのかゴールを示してあげることも必要そう。
- ・現地調査で、生産者の工夫の理解を深めていけるとよい。
- ・振り返りで、本時の学びを自分の言葉で話せるとよい。
- ・仲間との協働を促す教師の支援・言葉がけを工夫したい。
- ・学び方を学ぶ経験を友達と話したからよくわかった！を価値づけたい。
- ・3年生には難しいかもしれないが、シンキングツールや表やグラフでまとめることに挑戦させたい。高学年になったときにアウトプットもうまくなっていく。。

以上、挙げられた課題は次の学年ブロック授業者に引き継がれ改善された授業が展開されます。